

様式第2号（第5条関係）

平成 27 年 9 月 24 日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 佐藤則男 

このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成27年7月25日 ~ 平成27年7月26日まで
- 2 旅行先 東京都
- 3 目的 市民と議員の条例づくり交流会議2015参加
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成 27 年 7 月 25 日 13:30 ~ 17:45 7 月 26 日 10:00 ~ 15:30
視 察 先	東京都 法政大学市ヶ谷キャンパス(富士見坂校舎)
調査事項	市民と議員の条例づくり交流会議 2015 参加
対 応 者	廣瀬克哉氏 馬渡岡氏 (1 日目) (2 日) 長野基氏 青山彰久氏 中尾修氏 廣瀬克哉氏 鈴木太郎氏 寺島渉氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	地方創生と議会議員としての関わりと議会改革の 10 年これほどとこれから、市民の視点、議員の論点、全国各地の市議、町議一般市民、田民とワークショップを通じ意見交換を行なうと共に各講師による講演と実践報告。 第 1 日目 特集 新たな地方議会を新人議員が。 地方創生は地方議員の力量にかかっていると是負し馬渡岡氏(茨城大学人文学部社会科学准教授)の講演 ※ 地方創生とは、実は地方議会と言う存在の生き残りをかけた策いであることを地方議員は自覚すべきである。 また、地方議員は、その行動いかんによって実は自身が地域の宝となり得るし、地域の課題そのものになってはう。と言うどちらの可能性も有している。政治の本質を理解し危機的状況における存在意義を自覚すれば、次なる行動は見えてくるとあります。地域全体状況把握と議員相互の共通認識が必要だと感じました。 講演後 各分科に分かれて、4~5 名程度の人員でワークショップに参加しました。 テーマで 議会報告会って何なんだ?! 新人議員もベテラン議員もチームとなって誰の為の

議会報告会が認識をして住民目線を忘す
てはいけなと感じました。

また住民の方が満足する議会報告会を実現するには
どうしますかと質問に参加された様々な方から
発言があり集約してやるべき事、やってはいけない事
とは表裏一体の関係苦勞してでもやるべきとの話し
があり私自身勉強をして議員力を付け資質向上
に務めなければと感じました。

第2日目 長野基(首都大学)より調査報告として「全国議会
調査2015から見たこと」の発表があり前日、各分科
でのワークショップ報告と問題提起をなされ基調
提起として「議会改革の10年これほどこれからを廣瀬
克哉氏(法政大学)より受け「地方創生と地方議会の
役割」を議員に求められていること」と題し

青山彰久氏(読売新聞東京本社編集委員)より講演の後
中尾修氏(東京財団研究員)よりコメントをいただく。

第2部午後より実践報告として寺島涉(飯綱町議会
議長) 鈴木太郎(横浜市会議員) 西沢一郎(所沢市議
会議員)3氏により実践報告を受ける

※ 議会基本条例制定より10年が経過した今、先輩
議員が策いた議会基本条例 本町が先進地と
知り誇りに思いました。

未来の為に 誰のための改革なのかを他の議員
と話し合いより良い議会改革を進める一翼を
担いたい。